

【国第2次補正予算関係】

単位：千円

事業名	補正予算額 (現計予算額)	説明
<p>【農業経営課】</p> <p>獣害対策推進プロジェクト事業費</p>	<p>77,000 (2,359)</p> <p>繰 77,000</p>	<p>獣害防止対策環境整備支援隊派遣事業 77,000 緊急雇用対策として、生息環境管理のための集落周辺の整備を行う環境整備支援隊の設置と派遣を行い、鳥獣被害軽減を図る。</p> <p>0 77,000</p>
<p>【農業技術振興センター】</p> <p>管理運営費</p>	<p>3,300 (101,647)</p> <p>繰 3,300</p>	<p>「農業機械塾」開催事業 3,300 緊急雇用対策として、農業法人等へ新規就農した者に対して、免許取得および農業機械の日常点検・整備等の専門的な技術習得のための、短期集中講座「農業機械塾」を農業大学校にて開催する。</p> <p>0 3,300</p>
<p>【畜産課】</p> <p>環境調和型畜産実践対策事業費</p>	<p>47,056 (600)</p> <p>繰 47,056</p>	<p>資源循環型農業推進調査事業 47,056 緊急雇用対策として、「しがの農業・水産業新戦略プラン」の平成22年度改定を視野に入れた、資源循環型農業の推進を図るための基礎調査を実施する。</p> <p>0 47,056</p>
<p>家畜畜産物流通対策費</p>	<p>2,180 (1,606)</p> <p>繰 2,180</p>	<p>「近江牛」ブランドを活用した産業創出・地域振興事業 2,180 緊急雇用対策として、近江牛の生産牧場やレストラン等を観光資源としてPRするほか、新たな販路を開拓することで、近江牛の地域ブランド力を活用した「信頼の滋賀食肉センターブランド」づくりを推進する。</p> <p>0 2,180</p>

【国第2次補正予算関係】

単位：千円

事業名	補正予算額 (現計予算額)	説明
【水産課】		
流通加工対策費	3,530 (2,000)	琵琶湖産鮎生産情報発信事業 3,530 緊急雇用対策として、琵琶湖産鮎（種苗・養殖魚）の生産情報をインターネットを用いて種苗購入者や消費者に情報発信することで、地域ブランド商品である琵琶湖産鮎種苗の全国シェアを回復し、鮎養殖魚の販売促進を図る。
	繰 3,530	0 3,530
河川漁業振興費	13,462 (3,400)	1 河川釣り場整備事業 9,980 緊急雇用対策として、河川釣り場の清掃等整備を実施することで、釣り人に良好な釣り場環境を提供し、河川漁業を振興する。
	繰 13,462	0 9,980
		2 豊かな内水面漁場情報発信事業 3,482 緊急雇用対策として、ホームページや広報誌等による内水面漁場情報の発信や放流体験等を実施することで、内水面漁協の経営安定と漁場の保全を図る。
		0 3,482
【耕地課・農村振興課】		
みずすまし構想推進事業費	3,843 (3,670)	水田・水路の連続性基礎調査事業 3,843 緊急雇用対策として、琵琶湖湖辺域の水田と水路の連続性を現地調査し、データ化することで、魚のゆりかご水田の取り組みの更なる拡大を図る。
	繰 3,843	0 3,843